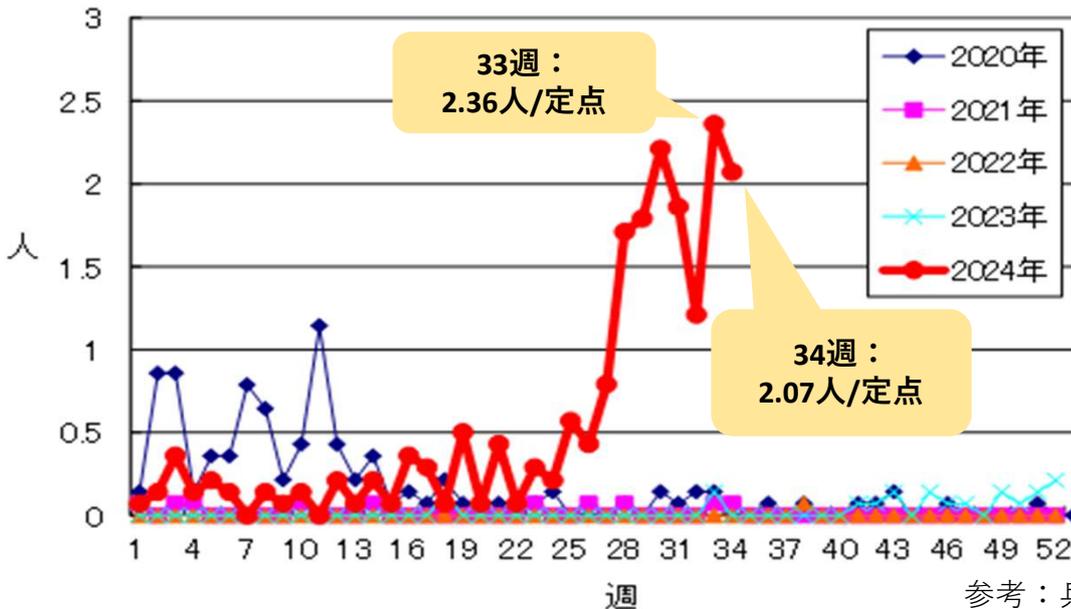


マイコプラズマ肺炎が流行しています！

◎マイコプラズマ肺炎とは？

- ・「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することにより起こる呼吸器感染症。
- ・幼児、学童期、青年期を中心に**全年齢で1年を通じて**報告があります。

マイコプラズマ肺炎の定点あたり患者発生状況(県内)



定点あたりの患者数は、33週の2.36から34週は2.07と減少しましたが、高い水準で推移しており、過去5年でも患者発生数の多い状況が続いています。

参考：兵庫県感染症発生動向調査週報
2024年第34週(8月19日～8月25日)

◎症状は？

- ・発熱や全身倦怠感、頭痛などの初発症状が現れた3～5日後に乾いた咳がみられます。咳は、徐々に強くなり、解熱後も3～4週間と長期間続くのが特徴です。
- ・一部の人は肺炎となり重症化することや、中耳炎、無菌性髄膜炎、脳炎などの合併症がみられることもあります。

◎感染経路は？

- ・感染経路：飛沫感染、接触感染
※家庭のほか、学校などの施設でも感染の伝播がみられます。
- ・潜伏期間：2～3週間と長い



◎治療・予防は？

治療は抗菌薬（抗生物質）による薬物療法

予防は

- ・手洗い、うがい、咳エチケット等の基本的な感染対策
※患者の咳から感染するため、咳の症状がある場合にはマスクを着用するなどの咳エチケットを心がけましょう。
- ・患者との濃厚な接触は避けましょう。

